

小平市公共施設マネジメント基本方針（素案）に対するパブリックコメントの実施結果

1 実施の概要

期間	平成27年10月1日～10月31日	
意見応募者数	14人 市内在住13人 市内で活動する個人又は法人その他の団体1人 男性8人 女性5人 不明1人	
提出の方法	持参	5人
	送付	—
	ファックス	3人
	メール	1人
	市ホームページ	5人

2 意見等に対する対応状況

反映済み	10件
反映する	0件
反映しない	5件
参考意見	15件
その他	0件

3 意見等への対応

番号	意見等	検討結果	対応
1	市民が主体となって関わり、個別施設の更新などにおいては、縦割り行政をなくし、他市との共同設置も視野に入れていただきたい。	本方針（素案）に基づき、市民参加と協働のもとで進めてまいります。また、全庁的な体制で着実な推進を図り、広域連携についても取組方策の一つとして個別施設の状況等に合わせ実施していきます。	反映済み
2	更新費用の算定に当たっては、建築基準法の改正などの制度改正に応じた金額の算定をすべき。	更新費用は、「延べ床面積×単価」で算出し、単価は「地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書（財団法人自治総合センター）」の用途別の単価を使用しています。今後、実際の施設更新においては、個別施設ごとに必要額を見積もってまいります。	参考意見
3	理念 日本の人口減少は50年後に半減するであろうと言われていきます。人口減少対策は国の命題です。小平市に住んでいる市民の年齢構成を正確にとらえ、その人たちの要望をいかに効率よく実現する基本方針を提案すべきだと思います。	本方針（素案）は、現在の市民の年齢構成や、将来世代にわたる人口推計をもとに検討し、「いつまでもわくわくする場をみんなで創ろう」という基本理念としています。本方針（素案）に基づき、市民参加と協働のもとで進めてまいります。	参考意見
4	将来の見通し 現在の施設をそのまま更新するには多くの資金が必要でしょう。更新の前にその設備の稼働率（利用率）、市役所、公民館、図書館、地域の諸施設、すべての稼働率を1年間、調べましょう。現在かかっている費用を公開しましょう。将来の人口見通しを出しましょう。（現在のベストを尽くして）	個別施設ごとの利用状況、コスト情報は、小平市公共施設データ集において公開しています。また、本方針（素案）に人口推計を掲載しています。今後も利用状況やコスト情報などの把握に努めてまいります。	参考意見
5	市民との会話 現在のデータに基づいた基本提案を市民に公開し、問題点を検討しましょう。現在の設備の単なる更新でなく、民営、売却、廃棄、等英断が必要です。市民の食生活の改善と医療費は密接な関係があります。地産農作物の活用、高齢者の労働力の活用、高齢者の活躍できる場所を提供しましょう。	本方針（素案）策定に向けては、公共施設マネジメント市民会議を開催、必要な情報を公開し、検討してまいりました。公民連携などは、取組方策の例として、本方針（素案）に掲載しています。本方針（素案）は、食生活や労働力について言及するものではないため、ご意見として承ります。	参考意見

6	小平市全体を見渡す視点から、市民との情報の共有や市民が行動する力を発揮できるようなことへの配慮や、行政評価を活用した公共施設の評価と見直しをすることが大切だ。	本方針（素案）策定に向けては、公共施設マネジメント市民会議を開催、必要な情報を公開し、検討してまいりました。今後も市民との情報の共有を行いながら、市民参加と協働のもとで進めてまいります。 また、行政評価や固定資産台帳などを活用し、公共施設に関するストックやコストの情報を一元的、継続的に把握し、関係者が最新かつ共通の情報に基づいて判断できる環境を整備することにより、公共施設マネジメントを推進する基礎を固めます。	反映済み
7	行政の機構を前提とした公共施設の配置をするのではなく、市民視点を中心としたもので考えた配置を行ってほしい。	公共施設の建設や維持管理、運営は、各公共施設の所管部署が主体となって行っておりますが、今後は、公共施設マネジメントに関する仕組みやルールを検討し、全庁的な体制で着実な推進を図ってまいります。 また、本方針（素案）策定に向けては、公共施設マネジメント市民会議を開催、必要な情報を公開し、検討してまいりました。今後も市民との情報の共有を行いながら、市民参加と協働のもとで進めてまいります。	反映済み
8	公共施設の再編と市の組織の再編を一体として行う視点をもつべき。	公共施設マネジメントに関する仕組みやルールを検討し、必要に応じた組織のもと、全庁的な体制で着実な推進を図ってまいります。	参考意見
9	公共施設の再編に伴い、イノベーションを意識してほしい。また、前例踏襲主義にとらわれない発想も大切である。	様々なサービスを複合的に実施することや、民間事業者等を含めた最適なサービスの提供主体などにより、ニーズの変化を的確にとらえ、新たな価値を創造し、いつの時代においても満足度の高い魅力あるサービスの実現を目指してまいります。	反映済み
10	市は、公共施設マネジメントを推進していく上で、市民との合意形成のためにわかりやすく情報を発信すること。市民自らが課題を解決の仕組みを作り上げることができれば、市民満足度を向上させる効果があると考えます。市民協働による課題の解決をしてほしい。	本方針（素案）策定に向けては、公共施設マネジメント市民会議を開催、必要な情報を公開し、検討してまいりました。今後も市民との情報の共有を行いながら、市民参加と協働のもとで進めてまいります。	反映済み

1 1	費用対効果の視点を持ち、行政評価を活用しながら、公共施設を評価し、統廃合するなどをしていくことが必要だ。	行政評価や固定資産台帳などを活用し、公共施設に関するストックやコストの情報を一元的、継続的に把握し、関係者が最新かつ共通の情報に基づいて判断できる環境を整備することにより、公共施設マネジメントを推進する基礎を固めます。	反映済み
1 2	市民の意見を反映する仕組みをこのプロジェクトに入れて下さい。 又、市役所の関係部局を全て、まきこんで具現化して下さい。たとえば、企画段階から関連部局を入れて下さい。 意見交換の場は、本日のように夜に開いて頂けると大変助かります。	本方針（素案）策定に向けては、公共施設マネジメント市民会議を開催、必要な情報を公開し、検討してまいりました。今後も市民との情報の共有を行いながら、市民参加と協働のもとで進めてまいります。 また、公共施設マネジメントに関する仕組みやルールを検討し、全庁的な体制で着実な推進を図ってまいります。	反映済み
1 3	なかまちテラスは市民全体的に評判が悪い。多大な費用を投じて、使い勝手の悪い公共施設になってしまったのは過ぎた事だが、繰り返してはいけない失敗例である。プロセスの段階できちんと市民を入れる事を本気で考えてほしい。 総合的な施設を造る事は良いと思う。しかし、子どもの出入りする施設等を安心安全に使うには市民の複数の目で見守る体制が必要になってくる。 ここにも本気の市民参加が出来るようにシステムを整備してほしい。 大きな箱物を減らすには空き家利用ができるような仲介役を市がやって、市民が活用できるようにしてほしい。「ワクワクできる」ようにするために工夫をもう少し掘り下げてほしい。	本方針（素案）は、個別施設について言及するものではないため、ご意見として承ります。 本方針（素案）策定に向けては、公共施設マネジメント市民会議を開催、必要な情報を公開し、検討してまいりました。今後も市民との情報の共有を行いながら、市民参加と協働のもとで進めてまいります。	参考意見

1 4	<p>公民館は地域において重要な拠点です。市民の集いに使用する場合、使用料がかかるのはやめて頂きたい、と強く要望します。</p> <p>小・中・高校生の集まる場としても、積極的な工夫を検討して頂きたいと思います。それを考えると今一重使用料無料の維持をお願い致します。</p>	<p>公民館などの公共施設の使用料については、平成21年度に外部委員を含む小平市受益者負担の適正化検討委員会において、報告書がまとめられており、その中では利用する人と利用しない人の「負担の公平性」が基本的な考え方となっています。</p> <p>また、第16回市政に関する世論調査では、地域センター等の利用費負担を、一部を含めて負担すべきだと思ふとする意見が7割近くありました。</p> <p>さらに、平成27年5月の公共施設に関する市民アンケート調査報告書では、減額・免除の見直しなど、利用者の負担を適正化することに肯定的な意見が8割近くありました。</p> <p>このようなことから、受益者負担の適正化については、引き続き検討を進めてまいります。</p>	参考意見
1 5	<p>素案のP16の(16)。受益者負担の適正化については、慎重に扱っていただきたい。公共施設は使用目的により「受益」なのか、市が進めようとしている「協働」なのか、または「現在は協働ではないが、今後その可能性を秘めている活動」か区別が難しいところもあると思う。</p>	<p>受益者負担の適正化については、平成21年度に外部委員を含む小平市受益者負担の適正化検討委員会において、報告書がまとめられており、その中では利用する人と利用しない人の「負担の公平性」が基本的な考え方となっています。</p> <p>今後も、受益者負担の適正化については、引き続き検討を進めてまいります。</p>	参考意見
1 6	<p>建物を新しくするとき、デザイン重視ではなく、使いやすさ、機能性重視でお願いしたい。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>	参考意見
1 7	<p>市民との参加と協働がうたわれているが、具体的な記載が、最後のページ。もう少し前のページに持ってこれないか。特に、(仮)公共施設配置計画の時には、市民との話し合いが大事になってくる。図の中に、どこで市民がかかわれるのか、示してほしい。</p>	<p>「市民参加・協働」の記載については、章立ての中で適切な位置にあると考えています。</p> <p>3ページの「位置づけ」については、計画体系における位置づけを表しています。</p>	反映しない
1 8	<p>市民が十分かわることができる、小平市の公共施設マネジメントは単なる統廃合ではなく「わくわく」するマネジメントになる。初期の検討段階から市民がかかわるべき。それを基本方針に盛り込んでほしい。</p>	<p>本方針(素案)策定に向けては、公共施設マネジメント市民会議を開催、必要な情報を公開し、検討してまいりました。</p> <p>今後も市民との情報の共有を行いながら、市民参加と協働のもとで進めてまいります。</p>	反映済み

19	この基本方針の中では、受益者負担の適正化についても検討する記載があるが、もし、検討するなら、他の使用料や利用料も合わせて検討すべきではないか。また、地域センターや公民館での活動は、仲間づくりを目的とした趣味や学習活動であり、地域づくりの活動。自治会組織率が50%を切る中、市内でその果たす役割は大きい。地域センターや公民館で活動していることが、個人や団体の「受益」となるのかについても、議論が必要なので、この素案に記載すべきではない。	受益者負担の適正化については、平成21年度に外部委員を含む小平市受益者負担の適正化検討委員会において、報告書がまとめられており、その検討結果として使用料・手数料の料金設定は適切であるとされていますが、今後とも原価計算に基づく料金設定などを見直していくことにより、適切な受益者負担の適正化に努めてまいります。 また、利用する人と利用しない人の「負担の公平性」の観点から、今後とも受益者負担の適正化については、公共施設マネジメントの取組においても引き続き検討を進めてまいります。	反映しない
20	防災の観点からマネジメントしていくとの記載があり、これは大事な視点であると思う。ただ、防災の中の「避難所」という点から見ると、とにかく近くにたくさんあることが重要になってくると思うが、統廃合を考えた場合、確実に不便になるので、それを補う具体的記載をお願いしたい。	本方針（素案）は、大きな方向性を示したものであり、個別施設について言及するものではないため、個別施設ごとに検討いたします。	反映しない
21	市民の意見を参考に入れて、検討を進めてください。 使用目的、使いやすさ、費用をけずって機能を効率的にご検討ください。	本方針（素案）策定に向けては、公共施設マネジメント市民会議を開催、必要な情報を公開し、検討してまいりました。今後も市民との情報の共有を行いながら、市民参加と協働のもとで進めてまいります。 また、固定資産台帳などを活用し、公共施設に関するストックやコストの情報を一元的、継続的に把握し、関係者が最新かつ共通の情報に基づいて判断できる環境を整備することにより、公共施設マネジメントを推進する基礎を固めます。	反映済み

2 2	<p>この素案から小平の明るい未来が読みとれると同時に、多くの難題を解決していかなければならぬ現状にあることも知りました。</p> <p>集約された4つの方針を実現していくためには、いつまでもわくわくするような推進体制を創りあげていくことが必要であることに強く共感いたします。そのためには、市全体の統一的な予算、組織、人づくりが求められていくのだと考えます。例えば、児童館併設地域センターの管理運営一元化などから取組むのもひとつの方法ではないでしょうか。</p> <p>小平市に住んで良かったと実感しています。良識ある市民として公共施設についての知見をこれからも深めてまいりたいと思っております。(公共施設に関する諸資料、小平市はじめ各自治体の取組みなど) 他市の事例に興味深く拝見いたしました。</p>	<p>公共施設マネジメントに関する仕組みやルールを検討し、全庁的な体制で着実な推進を図ってまいります。</p>	参考意見
2 3	<p>いつまでもわくわくする場をみんなで創ろう</p> <p>5つのワードの中で最も重要なのは「みんなで」だと思います。</p> <p>プロセスの良さが評判になって人が集まってくることもねらいたい。よろしくお願いします。</p>	<p>本方針（素案）策定に向けては、公共施設マネジメント市民会議を開催、必要な情報を公開し、検討してまいりました。今後も市民との情報の共有を行いながら、市民参加と協働のもとで進めてまいります。</p>	反映済み
2 4	<p>～いつまでもわくわくする場をみんなで創ろう～</p> <p>市民会議の市民の意見を最大限取り入れた方針として頂きありがとうございます。3つのグループの共通キーワードが「みんなで」であり、これが特に重要なタームになると思います。この「みんなで」をどれだけ多くの小平市民の「みんな」に出来るかが、ロングスパンの施策の成否にかかわってくるのではと思っています。それこそ、これからのプロセスの中で、どれだけ多くの市民が、この重要課題をわくわくして、自分たちの問題であると自覚して対応できるかが、鍵だと思っています。そのためには中央公民館に市民を呼ぶのではなく、つまり、中央公民館から出て、市民のいるところへ出向いて、点在する公民館、地域センター、場合によっては小学校などに、それこそ恐縮ですが何回も足をお運び頂いてこの課題について、みんなの意識を高める工夫から始めなければならないかと思っております。この計画はとても長期にわたり、大変で困</p>	<p>本方針（素案）策定に向けては、公共施設マネジメント市民会議を開催、必要な情報を公開し、検討してまいりました。今後も市民との情報の共有を行いながら、市民参加と協働のもとで進めてまいります。</p>	参考意見

	<p>難かもしれません。どうすればよいか妙案が浮かばないかもしれません。その時にこそ、いつも公民館にお世話になっている市民にも協力を頼むことが良いのではないのでしょうか。このことをきっかけに公共施設マネジメントをコントロールするだけでなく、この活動を経験しながら市民としての自覚を持つ市民を増やすことも、一つの目標としてください。</p> <p>4つの方針を実現させていくためには、市民と共に考えていく必要があることは今回の基本理念に歌ってあると思っています。しかし、その方法が述べられていないと思います。上記で述べたように、最も必要な、市民とどのような方法でこの課題に取り組むのかが、具体的に書かれなければ、この方針は今までの行政の施策の進め方と何も変わっていません。魅力あるサービスの実現に書いてある「新たな価値を創造」するためには、行政の皆様はもちろん、私たち市民の意識の変化が必要不可欠です。行政の抱える問題を自分たちの問題だと思えるかです。そのためには公共施設マネジメントと一緒に検討する中でそう思える市民を増やすことを、方策の一つに掲げる必要があると思います。素案を見直し、「市民と共に考えていく方法」を追加していただきたいと思います。</p> <p>この方法が記載され実現すれば、小平市の評判は高くなり移り住む市民も増えるかもしれません。今、危機にある民主主義を小平市から取り戻していこうではありませんか。</p>		
25	<p>この方針を見ると、どうしてなかまちテラスのような施設を、予算を大幅に上回る経費をかけて、公共施設として建築してしまったのか、大変疑問を感じる。バリアフリーに逆行した構造、使い勝手の悪さ（利用者から聞いている）、監視カメラの多数設置など、社会教育の場である公民館として問題が多い。そして、今後の維持管理費も大変心配だ。まず、このことの検証が必要だと強く感じる。</p>	<p>本方針（素案）は、大きな方向性を示したものであり、個別施設について言及するものではないため、ご意見として承ります。</p>	<p>参考意見</p>

2 6	<p>今後の人口の減少に合わせ、公共施設の総延べ床面積を20%以上縮減するという方針はなぜあらかじめ決まっているのか。市民協働ということ、予算を削減するためだけに考えているのか。公共施設それぞれの本来の目的、性格を重視し、そこを利用する人たちの声を実際に反映する形を実際に模索しなければ、この問題は解決しないと思う。</p>	<p>持続可能な施設総量の目安として延べ床面積を20%以上縮減する必要があると考えております。 本方針（素案）策定に向けては、公共施設マネジメント市民会議を開催、必要な情報を公開し、検討してまいりました。今後も市民との情報の共有を行いながら、市民参加と協働のもとで進めてまいります。 また、市民の声は、利用者のみならず施設を利用しない方々にもお聞きすることが重要であると考えております。そのために平成26年度には無作為抽出による市民アンケートを実施いたしました。</p>	参考意見
2 7	<p>第2章基本理念と施策の展開 4 取組方策例「…用途地域上の制約が関係することもあり留意する必要があります。」→「状況に応じて関係規則等の見直しの必要があります。」</p>	<p>都市計画用途地域は、公共施設マネジメントの観点のみで見直すものではないため、このように表記しています。</p>	反映しない
2 8	<p>第3章推進体制等「2 市民参加・協働」→「2 市民参加と参画、協働」 ○意見として 市民が使用者として参加するだけでなく、このマネジメントに参画して市民の意志を反映させて頂きたい。「仲町テラス」の様な外見に拘ることなく、使用用途に応じた「モノ」を建設すべし。</p>	<p>小平市自治基本条例では、第3章「参加及び協働」となっており、これに準じた表記が適正であると考えています。 ご意見として承ります。</p>	反映しない
2 9	<p>第2章基本理念の施策と展開 4 取組方策の例 具体的提案例 ◎複合・多機能・集約化 □建設施工事業は民間企業に □土地は状況により公有地 □建物像 ・屋上：公園・グラウンド等緑地化 ・3階以上：居住区（分譲は賃貸…施工事業者の計画） ・2階：学校・公民館・地域センター等教育・福祉関係施設 ・1階：行政機関、地元商店、飲食等 小規模医療施設等 ・地下1階：駐車場 ・地下2階：駐車場兼災害時の対応区（例、災害時の貯水場）</p>	<p>本方針（素案）は、大きな方向性を示したものであり、具体的な建築物について言及するものではないため、ご意見として承ります。</p>	参考意見

30	<p>この基本方針のなかで、受益者負担の適正化について検討するようですが、施設管理の点からは関係ないのではないのでしょうか。減免がなくなりますと、自分も含め、周りの方々は年金暮らしの方が増えている状況で、公民館や地域センターで交流や学習をしているので活動できなくなり、引きこもりや、寝たきり老人が増えてしまうのではないのでしょうか。</p>	<p>公共施設の使用料については、平成21年度に外部委員を含む小平市受益者負担の適正化検討委員会において、報告書がまとめられており、その中では利用する人と利用しない人の「負担の公平性」が基本的な考え方となっています。</p> <p>また、第16回市政に関する世論調査では、地域センター等の利用費負担を、一部を含めて負担すべきだと思うとする意見が7割近くありました。</p> <p>さらに、平成27年5月の公共施設に関する市民アンケート調査報告書では、減額・免除の見直しなど、利用者の負担を適正化することに肯定的な意見が8割近くありました。</p> <p>このようなことから、受益者負担の適正化については、公共施設マネジメントの取組においても引き続き検討を進めてまいります。</p>	参考意見
----	--	--	------